

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、地域の皆様ならびにすべての医療関係者の皆様に多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、全職員の努力により当院の運営を続けることができましたこと、深く感謝いたします。

昨年は物価高騰や災害など、社会全体が厳しい状況に直面し、医療界も例外ではありませんでした。当院も財政的な困難に直面しましたが、医療の質を守り、さらに向上させるため、職員一同力を合わせて取り組んでまいりました。至らぬ点もあったかと存じますが、日々反省し、より良い診療を目指して努力を続けております。

医療において最も重要なのは、患者様の状態を的確に見極め、最善の診療・治療を迅速に提供することです。その結果として、診療の質（思いやりの医療）が問われる考え方であります。これから時代は、初診から説明・同意、治療経過に至るまで、すべての過程で質の高い医療を提供することが求められます。当院はその実現に向け、地域連携、医療機器の充実、情報発信、環境整備など、病院としての責務を果たしながら成長を続けてまいります。

本年も、皆様に安心と信頼をお届けできるよう、職員一同精進してまいります。

皆様にとって、明るく健やかな一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2026年1月1日

南和歌山医療センター

院長 橋爪 俊和